

科目名	臨床医学総論Ⅲ ①			授業の種類	講義	講師名
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 3年 通年
【授業の目的・ねらい】 これまで学んできた基礎的な医学的知識を応用しながら、病気の基礎、検査、診断、治療とそれに付随する医療機器を絡め、臨床工学技士の業務に必要な臨床医学的知識の修得を目的とする。						
【実務者経験】 臨床工学技士として福岡市立こども病院等で、新生児や小児の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。						
【授業全体の内容の概要】 内科、外科全ての分野における疾患と病変に対し、病態生理、症状、診断法、治療法について学習する 前期では循環器疾患と代謝系疾患を中心に、後期では呼吸器、感染症、内分泌、神経系疾患などについて学習する。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・ 外科系疾患の原因と病態について概要を説明することができる。 ・ 各種検査値、疾患と治療方針についての知識を身につける。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	病理の基礎項目を再度整理する					
2	心不全の基礎と臨床について理解する					
3	不整脈の病態生理と治療について理解する					
4	虚血性心疾患の病態生理と治療について理解する					
5	弁膜症と高血圧、動脈瘤について理解する					
6	先天性心疾患の病態生理を知る					
7	末梢動脈疾患と静脈疾患について説明できるようになる					
8	呼吸器疾患の基礎病態について理解する					
9	肺炎とARDSの診断と治療について理解する					
10	COPDの発症と診断・治療について理解する					
11	喘息の診断と治療について説明できるようになる					
12	間質性肺炎、結核、呼吸器感染症について説明できるようになる					
13	免疫の仕組みと移植、輸血について					
14	免疫システムに関連する疾患について概要を把握する					
15	基礎的な感染症とその基礎知識、原因について理解する					
【使用教科書・教材・参考書】 ・ 臨床工学講座 臨床医学総論 第2版、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社 ・ 臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社 ・ 配布資料						
【準備学習・時間外学習】 ・ 国家試験の過去問題は自主的に取り組んでください ・ 事前に教科書に目を通して講義に臨んでください ・ 病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を20点、定期試験を80点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する						